

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市八幡東区東田1-5-7

団体名 セイコーエプソン株式会社 北九州オフィス

代表者 奥野 徳次郎

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	せいこーえぶそんかぶしきかいしゃ きたきゅうしゅうおふいす	
団体名	セイコーエプソン株式会社 北九州オフィス	
(ふりがな)	おくの とくじろう	
代表者氏名	奥野 徳次郎	
所在地	市内事業所	北九州市八幡東区 東田1-5-7 九州ヒューマンメディア創造センター 5F
	主たる事業所	本社：長野県諏訪市大和三丁目3番5号
事業概要	情報機器の製造、販売	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	製造業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="https://www.epson.jp/">https://www.epson.jp/</a>	

## 連絡先

担当部署	総務部
担当者	藤野 泰典
電話番号	093-663-1680
メールアドレス	<a href="mailto:Fujino.Yasunori@exc.epson.co.jp">Fujino.Yasunori@exc.epson.co.jp</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込をWebにて行ってください

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

企業名 セイコーエプソン株式会社 北九州オフィス

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば具体的な 取組内容の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	
				7	9	13		ゴール	指標
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					①「省エネによるCO2の排出削減」「CO2以外の温室効果ガスの排出削減」を活動の主軸に置き、国内事業所だけでなく海外も含むすべての関係会社でエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/environment.html#h2_01">https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/environment.html#h2_01</a> ②脱炭素社会への変革に向けて、温室効果ガス排出量の削減を基本とした気候変動対策に取り組んでいる。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/decarbonization/">https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/decarbonization/</a> ③再生可能エネルギーの活用を、脱炭素の達成目標に向けた重要なテーマとして位置づけ、2023年12月に、全世界のエプソングループ拠点において使用する電力の再生エネルギー化を推進している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/decarbonization/#h2_04">https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/decarbonization/#h2_04</a>	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	⑭
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R（リデュース、リユース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					①生産工程やオフィスから発生する全ての排出物は、自社内での減量化や再利用、リサイクルを可能な限り実施した上で、処理業者へ委託して再資源化することを基本としている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/environment.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/environment.html</a> また、エプソン独自のドライファイバーテクノロジー/PaparLabによって、社内の使用済み古紙をコピー用紙やプリンター部品に再生利用している。 <a href="https://www.epson.jp/prod/smartcycle/">https://www.epson.jp/prod/smartcycle/</a> ②ライフサイクル全体で商品が環境に与える影響を考慮した環境配慮設計を行っている。併せて、資源循環の輪を大きくするために、お客様・業界・地域と連携し、世界各国・地域で使用済み商品の回収・リサイクルを進めている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/resources/recycle.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/resources/recycle.html</a> ③「小型軽量」「省エネ」「循環・長寿命」を通じ、ライフサイクル環境負荷を低減する商品を提供している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/products.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/products.html</a>	ゴール	指標
				9.4	12.3, 12.5	13.3		ゴール12	⑭
3	事業に伴う調達（原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等）について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					サプライヤー管理プログラムを制定し、調達ガイドラインの遵守要請、サプライヤーによる自己評価、リスク分析、現場確認、改善活動のサイクルにより行っている。いずれのサプライヤーにおいても、サプライヤーと協働で改善活動を行い、レベルアップを図っている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/supply-chain/">https://corporate.epson/ja/sustainability/supply-chain/</a>	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール10	⑭
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					①世界中のどの国・地域でも同じ品質を提供できるよう、グループ統一の品質保証規程と製品安全管理規程を定め、世界統一レベルでの製品品質を実現している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/safety.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/safety.html</a> ②「製品に関する重要なお知らせ」をエプソンのホームページのトップに掲載し、製品安全に関する情報を提供している。 <a href="https://www.epson.jp/">https://www.epson.jp/</a> ③品質方針を定め、それを全社員が共有し実践することで、お客様に満足していただける商品/サービスの提供を追求している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/improvement.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/customer-commitment/improvement.html</a> ④社会課題を起点とした循環型経済を牽引する環境技術開発を行っている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/development.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/development.html</a>	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール12	⑭
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					①生産工程や商品の省エネルギー、資源効率向上、有害物質排除など、環境負荷低減の取り組みにより創出した環境配慮型商品を提供している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/">https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/products/</a> ②価値創造ストーリーに基づき、社会課題を起点に、自社が貢献できるマテリアリティを特定し、独自のコア技術をベースにイノベーションを起こし、社会課題を解決する価値を創造し、提供することでSDGsの達成に貢献している。この価値創造を継続して行うことにより、持続可能なところ豊かな社会を実現する。 <a href="https://corporate.epson/ja/philosophy/value-creation/">https://corporate.epson/ja/philosophy/value-creation/</a>	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	⑭
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					フレックスタイム制度や在宅勤務等、働く時間や場所の選択肢を拡充し、育児・介護・療養・不妊治療と仕事の両立ができる環境づくりを行っている。 また職場におけるハラスメント防止や労働時間適正化等の施策を推進している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/workplace.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/workplace.html</a>	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	⑭
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組む、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					①エプソングループ人権方針を掲げ自社・関係会社・海外現法およびサプライヤーに対し、年1回差別項目、外国人労働者を含んだアンケート調査を行い、課題を把握して改善を図っている。 <a href="https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/principle/human-rights-policy.html">https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/principle/human-rights-policy.html</a> ②女性管理職比率、障がい者雇用率等の目標値を立て、働きやすい環境を整え、多様な人材が能力を最大限発揮できる企業文化の醸成に取り組んでいる。 「えるばし認定」、「ラチナくるみん認定」を取得している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/diversity/">https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/diversity/</a>	ゴール	指標
				5.5	8.5, 8.8	10.2		ゴール10	④
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)				ハラスメント研修を継続的に実施している。相談窓口を設置し、事例の開示や広報による注意喚起により、未然予防・再発防止に努めている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/human-rights.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/human-rights.html</a>	ゴール	指標	
				5.1, 5.4	8.8		ゴール5	⑭	
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)				メンタルヘルス研修の実施、健康管理室・従業員相談室における相談体制の整備、ストレスチェック、再燃再発防止活動を実施している。 「健康経営名刺」3年連続、「健康経営優良法人（ホワイト500）」に8年連続で認定されている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html</a>	ゴール	指標	
				3.4	8.8		ゴール3	⑭	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					エプソングループ人材開発方針を制定し、社員一人ひとりが期待される役割を理解し、仕事を通じて成長できるよう、各種階層別教育、専門教育等を実施している。 グローバルに共通の目標に向かって事業を推進できるグローバル人材の育成を行っている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/development.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/development.html</a>	ゴール	指標
				4.4	8.2, 8.6	17.17		ゴール4	②
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報等の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					①企業行動原則および社員行動規範に贈収賄、不正競争の禁止、法規制などのルールを守ることを定め、グループ内に周知徹底を図っている。 <a href="https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/principle/">https://corporate.epson/ja/philosophy/epson-way/principle/</a> ②毎年10月を「コンプライアンス月間」と定め、全世界でコンプライアンス意識の向上及びコンプライアンスリスクの低減を徹底する期間としている。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/initiatives.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/initiatives.html</a> ③個人情報保護を重要な活動の一つとして位置付け「個人情報保護方針」に定めている。 <a href="https://corporate.epson/ja/privacy/policy.html">https://corporate.epson/ja/privacy/policy.html</a>	ゴール	指標
				16.1, 16.3, 16.5				ゴール16	⑭
12	自社のSDGsの取組をマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV（※）などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					①サステナビリティ担当役員を任命し、CSR活動を進める体制や会議を設置している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/">https://corporate.epson/ja/sustainability/</a> ②企業を取り巻く社会課題を抽出し、自社視点・社会視点で評価し「CSR重要テーマ」として特定し、テーマごとに年度の活動計画を立てて推進している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/materiality.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/materiality.html</a> ③長年にわたる防災への取り組みや、事業継続計画（BCP）策定等、事業継続マネジメント（BCM）の推進に取り組んでいる。定期的な訓練を実施している。 <a href="https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html">https://corporate.epson/ja/sustainability/governance/system.html</a>	ゴール	指標
				11.b	12.6	13.1		ゴール13	⑭

※ CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス（経済的な価値）を創出すること。

### SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和7年1月10日  
団体名 セイコーエプソン株式会社 北九州オフィス

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

#### ◆ SDGs達成に向けた取組方針等

エプソンは環境問題をはじめとするさまざまな社会問題の解決に真摯に取り組み、お客様の期待を超える驚きや感動を提供することにより、持続可能でこころ豊かな社会を共創することを目指しています。このことは、国連で選択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成と目的を同じくするものです。エプソンは独創の「省・小・精の技術」の達成とデジタル技術で人・モノ・情報をつなぎ、新たな価値の創出に新しい発想ややり方で挑戦し、SDGsで目指す持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### ◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を 目指す分野 に「○」	SDGs達成に向けた 重点的な取組	指標（KPI）・目標値		最も関連性のある 「北九州市基本計画」との関係		
		※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		最も関連性のある重 点戦略との関係	最も関連性のある 「北九州市基本計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載でも可	
経済	製造工程において排出されるCO2排出量削減 →「SBT1.5 シナリオ」に沿ったGHG削減（ス コープ1,2,3）	指標 (KPI)	CO2排出削減量	稼げる まち	○	指標 ⑪
社会		目標値		彩りあ るまち	○	社会課題を意識し、日常生活の中で解 決に向けた行動に取り組む市民の割合
環境		2025年 (その他の場合) ( )年	スコープ1+2：34%削減 スコープ3：44%削減 ※2017年度比	安らぐま ち	○	具体的な取組
経済	女性管理職比率の引き上げ	指標 (KPI)	女性管理職の比率	稼げる まち	○	指標 ④
社会		目標値		彩りあ るまち		女性就業率(25～44歳)
環境		2025年 (その他の場合) ( )年	女性管理職比率： 2024年度5.3% → 2025年度8% 女性リーダー級： 2024年度7.7% → 2025年度10%	安らぐま ち	○	具体的な取組
経済	サプライチェーンにおけるサプライヤー行動規範の 徹底	指標 (KPI)	主要サプライヤーのハイリス ク率	稼げる まち		指標 ⑬
社会		目標値		彩りあ るまち		安全なまちと認識している市民の割合
環境		2025年 (その他の場合) ( )年	2024年度：0% → 2025年度：0%を維持	安らぐま ち	○	具体的な取組

#### 記載について

- ・「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

